



伊盛牧場(石垣市)が 天皇杯を受賞

～平成28年度(第55回)農林水産祭～

農林水産祭について

農林水産祭は、国民の農林水産業と食に対する認識を深めるとともに、農林水産業者の技術改善及び経営発展意欲を高揚させるため、国民的な祭典として農林水産省と公益財団法人日本農林漁業振興会の共催により昭和37年から実施されています。今年度の式典は、平成28年11月23

平成28年11月23日に、平成28年度(第55回)農林水産祭式典が行われ、沖縄県石垣市で酪農を営む農業生産法人有限会社伊盛牧場(代表伊盛米俊)が畜産部門で天皇杯を受賞されました。今回は、農林水産祭について、また、伊盛牧場さんが天皇杯を受賞するに至ったこれまでの取組について紹介いたします。



式典で農業者代表の言葉を述べられる伊盛氏

日に明治神宮会館で行われ、農林水産大臣をはじめ、多くの来賓の参加のもと、生産者代表と消費者代表から収穫への感謝の言葉が述べられた後、優秀農林水産業者の表彰などが行われました。

天皇杯について

天皇杯は、農産部門、園芸部門、畜産部門、蚕糸・地域特産部門、林産部門、水産部門、むらづくり部門の7部門に授与されます。

また、天皇杯は、毎年農林水産関係団体等が「農林水産祭参加表彰行事」として開催する約300の行事(約10万点の参加)において農林水産大臣賞を受賞した約500点の出品財の中から中央審査委員会の厳正な審査を経て、その性質・内容が抜群で広く社会の賞賛に値する業績に対して、最高の榮譽として与えられます。

※伊盛牧場は、平成28年6月に、第65回全国農業コンクールにおいて農林水産大臣賞(名誉賞)とグランプリ(毎日農業大賞)を受賞。

天皇杯受賞理由について
「条件不利地域「南ぬ島」での酪農経営、ジェラートにかける思い」

伊盛牧場がある石垣島は、年平均気温24度の亜熱帯海洋性気候に属し、一年の半分は最高気温が乳牛の生産環境限界温度とされる27度を超えます。また、離島で台風襲来が多いなど、乳牛飼養にとって条件が不利な地域でありながら、創意工夫を積み重ねて克服し、6次産業化にも取り組み、経営を順調に拡大されたことなどが評価されました。

その他、伊盛牧場の天皇杯受賞理由として、以下の点があげられています。(農林水産省発表資料より)

1 受賞者の取組の経過と経営の現況

伊盛氏は、台風襲来が多い島では畜産が適すると考え、和牛(肉用牛)1頭から畜産を始めました。

しかし、離島で生乳が不足していたため酪農に転換。平成5年に農業生産法人有限会社伊盛牧場を設立しました。平成17年に暑熱対策を施した牛舎の整備を実施し、暑熱に強い牛群改良を進めることにより、生乳生産を軌道に乗せることができました。

その後、ジェラートなどの加工販

2 受賞者の特色

●亜熱帯・離島での酪農

牛舎は日射や通風に配慮し、送風器や噴霧装置を設置するなどの暑熱対策を施しています。また、性別別精液により自家産で耐暑性に着目した乳牛改良を進めています。さらに、土壌改良を行い牧草地にローズグラスを栽培し、年6回の刈り取りと3年毎の草地更新を行っています。これらにより粗飼料はアルファルファペレット以外は完全自給、平均乳量7,565キログラム/頭、乳脂率4.0%



粗飼料完全自給を目指して努力を積み重ねた牧草地

売所を開店し、平成25年の新空港開港に伴い空港内に2号店を構えました。平成27年度末で、役員4名、従業員19名、売上総利益は平成25年度に比べて143%と飛躍的な伸びを示しています。

と他県の酪農と遜色ない品質を維持しています。

●畜産物を用いた6次産業への参入

特産の黒糖、紅いも、果実など規格外で出荷できない産品を地元生産者から引き受け、多彩なジェラートを商品化して地域資源と産業を結びつけました。また、乳量が落ちた乳牛の肉を利用したハンバーガーも人気を集め、石垣島の振興と発展にも貢献しています。

●女性の活躍

女性従業員12名(うち正社員4名)を雇用し、女性の発想や感性を活用した商品開発や販売促進に取り組んでいます。短時間型の勤務シフトを選択できるなど、家庭と仕事が両立可能な環境を整備し、地域社会と結



石垣島のきれいな海が一望できる直売施設

3 今後の発展方向

びついた経営を展開しています。

増加する顧客に対応するため、新加工施設を建設中です。さらに、交雑種肥育にも着手し、売上増加に向けて規模拡大を図っています。伊盛氏は、観光客の増加により収入が伸びている一方で、土地に立脚した酪農が大切との思いから、1次産業を重視しており、暑さに強い牛群を構築しながら地域の実情に沿った特色ある酪農経営を目指しています。

おわりに

今回の伊盛牧場の受賞は、離島という条件不利地域でありながらもそれを克服し、離島だからこそ得られ



果実など地域資源を活用したジェラート

年度	部門	出品財	所在地	受賞者名
H17年	蚕糸・地域特産	経営(薬用作物)	佐敷町	有限会社沖縄長生薬草本社
H17年	むらづくり	むらづくり活動	読谷村	渡慶次集落
H20年	畜産	経営(肉用牛繁殖)	石垣市	多宇 司、多宇 明子
H23年	水産	技術・ほ場 (資源管理・資源増殖)	恩納村	恩納村漁業協同組合 海ぶどう生産部会
H28年	畜産	経営(酪農・加工)	石垣市	農業生産法人有限会社伊盛牧場

るメリットを活かした1次産業及び6次産業化の魅力を広く発信していることが評価されたものです。改めて関係者の皆様、地域の皆様に深く敬意を表します。
なお、沖縄県内の天皇杯受賞者は、伊盛牧場の受賞で5例目となりました。